

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
小児がん拠点病院を軸とした小児がん医療提供体制のあり方に関する研究

分担研究報告書

「分担課題名 セラピードッグ導入」

研究分担者 井上雅美 大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科 主任部長

研究要旨

セラピードッグは長期入院中の患者、終末期など困難な状況にある患者に寄り添い、癒やしを与える取り組みとして、欧米の多数の施設で採用されているが、わが国においては、まだ限られた施設のみで取り組まれている状況で、今後の発展が期待される。研究分担者らは、所属施設においてセラピードッグについて勉強会から開始し、試験的導入を行ったので報告する。

A．研究目的

小児がん医療においてセラピードッグを導入し、その意義を明らかにする。

B．研究方法

大阪府立母子保健総合医療センターで活動している Quality of Life Support Team (QST)は多職種メンバーで構成されており、小児がん診療における緩和ケアを充実させるべく取り組んでいる。この QST がセラピードッグ本格的導入に向けて、セラピードッグを育成している NPO 法人日本レスキュー協会の協力を得て、勉強会、試験的導入（訪問）を行った。複数回の訪問のうち、2016 年 12 月 22 日の訪問について、入院中の子ども、家族を対象にアンケート調査を

行った。

C．研究結果

2016 年 12 月 22 日のセラピードッグ訪問についてのアンケート調査の結果は以下の通りである。

1. 個別訪問

対象 小児循環器病棟長期入院中の学童

アンケート結果

・ワンちゃんと会ってみて うれしかった かわいい

・ワンちゃんにまた会いたいか はい

・自由記載 何度も来てほしい

子どもの反応

ほとんど笑わなかった子どもがセラピードッグのことを話すと笑顔がみられる

訪問後、健康状態の変化はなかった
課題

子どものトータルケアにおける位置づけが明確になるとよい

2. 病棟外会議室での触れ合い

対象 血液・腫瘍科病棟入院中の子ども 6 名とその家族（他病棟にも案内したが病棟クリスマス会と重複していたため、参加なし）

アンケート結果 6 名中 4 名回収

・ワンちゃんと会ってみて うれしかった 3 名 こわかった 1 名 大きかった 1 名 かわいい 3 名

・ワンちゃんにまた会いたいか はい 4 名 いいえ 0 名 わからない 0 名

・自由記載

みおん(中型犬)にまた会いたいです。

母子センターの宣伝になる

ワンちゃんが病院に常駐して、いつでも会えるようにしてほしいです。

子どもの反応

犬を怖がるこどももいたが、少しずつ触れることができていた。

子どもが喜ぶ様子を見て、親が喜んでおり、親の緊張感もほぐれていた。

課題

会場が狭く、待機場所としていたスペースも使用した。

3. 病棟訪問

対象 小児内科系病棟入院中の子ども

事前申込 5 名中 4 名参加（年齢：2 歳，5 歳，7 歳，9 歳）

当日参加 3 名（内訳：重症心身障害児 2 名、入院当日の 13 歳）

アンケート結果 7 名中 6 名回収

・ワンちゃんと会ってみて うれしかった 4 名 こわかった 0 名 大きかった 0 名 かわいい 4 名

・ワンちゃんにまた会いたいか はい 5 名 いいえ 0 名 わからない 1 名

・自由記載

娘はワンちゃんとふれあえるのをとても楽しみにしていました。たくさんの方がいて少し緊張していたようですが、とてもうれしかったようです。貴重な機会をいただきありがとうございました。プレゼントもたくさん頂き喜んでいました。

動物を飼いたくても毛やお世話などいろいろ気になることがあって踏み切れないでいます。こんな風に安心して動物に接することができ、こわごわではなく存分に可愛さを満喫できて嬉しか

ったです。今日の入院でよかったです！とてもステキなクリスマスプレゼントでした。ありがとうございました。

フリスビーを投げてワンちゃんに取ってほしかった。

子どもの反応

訪問時は楽しそうにしていた。

訪問後、健康状態の変化はなかった
課題

重症心身障害児の親からふれあいの申出があり、主治医に許可を得、同室児にはカーテンでしきりをして小型犬が対応した。ニーズはあるが対応の工夫が必要である。

その他

保育士が中心となってふれあい後の手洗い、衣類についた毛の除去など対応してくれた。受け入れ病棟師長、スタッフの協力が不可欠である。

D . 考察

セラピードッグ導入は、小児がん治療などのため長期入院をしている子どもや家族に癒しの時間となった。また、犬と触れ合う機会のない重症心身障害児の子どもや家族にも良い影響を及ぼす可能性が高いと考えられた。

E . 結論

平成 29 年度の本格的導入（定期訪問）を目指す。

F . 健康危険情報

とくに問題になるような事象を認めなかった。

G . 研究発表

- 1 . 論文発表 該当なし。
- 2 . 学会発表 該当なし。

H . 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

該当なし。



ドッグセラピーへのご招待

じゃんけん大会 & 写真撮影会

病院にわんちゃんがやってくる

セラピードッグとは、触れ合いや交流を通じて病气やケガ、または精神的な痛手を受けた人の不安を減らし、気力を高めるところと身体を癒す働きをする高度な訓練を受けた犬たちです。



日時 2016年12月22日(木)

- ① 15:15 ~ 15:45
- ② 15:45 ~ 16:15



集合場所 防災センター前

集合時間

- ① 15:10 ② 15:40



対象 入院中の子ども(10名)

(主治医の許可を得られ病棟外に出ることが可能な方)



申込方法

病棟師長にお声かけください。
申込書をお渡しします。
申込者多数の場合はご希望に添えないこともあります。



主催
QST

QSTでは『こどもの苦痛は最小限に、笑顔は最大限に』をモットーに活動しています。